

女性に対する暴力のない社会を目指して



11月12日(金)から25日(木)までは、女性に対する暴力をなくす運動週間です。女性に対する暴力のない社会について、一緒に考えてみませんか。



DVとは

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、夫やパートナーなど親しい関係にある男性から女性に対してふるわれる①身体的 ②精神的 ③性的 ④経済的などの暴力のことです。DVは重大な人権侵害であり明らかな犯罪です。身近な間柄であっても、どんな場合であっても暴力は決して許されるものではありません。

DVの本質とは

「力と支配」です。相手を力で支配する、つまり自分の思い通りに相手を動かして支配することが目的です。

デートDVとは

DVは大人だけの問題ではありません。近年、若者の間でも被害が広がっています。デート相手に対する暴力を「デートDV」と呼びます。

2006年に内閣府が発表した調査では、10代から20代のころ、交際相手から「身体的暴力」や「心理的攻撃」「性的強要」のいずれかを受けたことがある女性は13・5%いることが分かりました。20代の女性に限ると22・8%が被害経験

表1

正しいと思うものの番号に、○を付けてみましょう。正直に、自分のためやってみてください。

自分の意識をチェックしよう	
1.	相手をばかにしたり、怒鳴ったりするのは暴力のうちに入らない
2.	暴力をふるわれるのは、ふるわれる方に原因があるからだ
3.	親しくなれば相手を束縛しても仕方がない
4.	ドラマやマンガで、恋人が思わず手を上げるのは、嫉妬や愛情表現だ
5.	女性の方から避妊してと言ったら相手に嫌われてしまう
6.	たとえ暴力をふるったとしても、ちゃんと反省して謝ったら許してあげべきだ

一つでも当てはまるものがあれば、デートDVについての正しい知識を学んでいきましょう。

デートDVはなぜ起きる

ありと答えています。このようにデートDVは若者たちにとって身近な問題といえます。

(表1)

その一つに「暴力を甘く見る風潮」「男の子は多少暴力的でもいい」といった暴力容認の社会が背景になっています。また、デートDVが起るほかに原因として、ジェンダー・バイアス(社会的・文化的性差別)の意識が挙げられます。

ジェンダー・バイアスとは

①男女の役割について固定的な観念を持つこと

図2

ジェンダー・バイアス(男らしさ女らしさの刷り込み)

偏った女らしさ	偏った男らしさ
おとなしい でしゃばらない 守られる かわいい・か弱い 女は家事・育児 受け身、頼る	たくましい リーダーシップ 弱音を吐かない 競争に勝つ 男は仕事 攻撃的、頼られる
自分で選ぶ「自分らしさ」	
優しい 素直 たくましい 涙もろい	リーダーシップがある 自己主張できる 責任感がある 頼りがいがある
静か 度胸がある 忍耐強い 積極的 など	

図1



表2

相談機関	受付時間	電話番号
群馬県女性相談センター (配偶者暴力相談支援センター)	月～金曜日、午前9時～午後8時 土・日曜日、祝日、午後1時～5時	☎ 027-224-4480
太田警察署	24時間受け付け(夜間・休日は宿日直対応)	☎ 33-0110
東部保健福祉事務所	月～金曜日、午前8時30分～午後5時30分	☎ 31-8241
生活そうだん課(市役所3階)	月～金曜日、午前8時30分～午後5時15分	☎ 47-1897
こども課(同2階)	月～金曜日、午前8時30分～午後5時15分	☎ 47-1830

※相談は無料、秘密は厳守されます。

一人て悩まない! 各機関でさまざまな女性に対する暴力に関する相談を受け付けています。早めの相談が問題解決への第一歩です。

(表2)

問い合わせ
生活そうだん課
☎ 47-1897